

環境県民局 資 料	No. 3
--------------	-------

令和4年11月18日 課 名 環境県民局わたらしい生き方応援課 担当者 課長 中山 内 線 2733

令和4年度上半期のエソール広島の活動状況の検証について

1 要旨・目的

エソール広島の令和4年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容について検証する。

2 現状・背景

エソール広島の平成30年10月の移転を機に、エソール広島の更なる活性化のため、毎年度の上半期及び年間の施設の利用状況や事業の実施状況等を取りまとめ、検証することとした。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

別紙のとおり

(3) スケジュール（実施期間）

令和4年4月～9月

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 事業効果・検証結果

別紙のとおり

令和4年度上半期のエソール広島の活動状況の検証について

〔令和4年11月18日〕
わたらしい生き方応援課

エソール広島の令和4年度上半期の活動状況について取りまとめを行い、その内容について検証する。

第1 エソール広島の事業の実施状況について

エソール広島では、県が策定した「わたらしい生き方応援プランひろしま」（第5次男女共同参画基本計画）において特に注力するポイントとして掲げる「性別に関わらない自分らしい暮らし方の実現に向けた男女双方の意識改革」、「性の多様性の尊重と県民理解の促進」のほか、コロナ禍で深刻な悩みを抱える女性等への支援が必要であることから、次の3点に重点的に取り組んでいる。

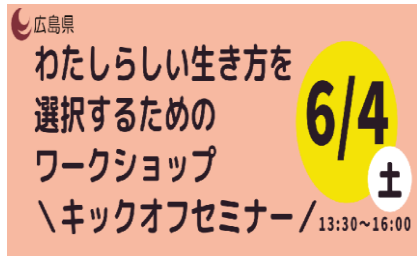
- 1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革
- 2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化
- 3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり


1 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

前年度に引き続き、性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択できるよう意識改革を促すためのワークショップ事業を県と連携して実施している。

今年度は、前年度の参加交流型ワークショップで提起された課題等を踏まえ、6月にはキックオフセミナーを開催したほか、9月からは「思い込みの解消が未来を拓く」と題し、3つのテーマを設け、少人数・複数回でゼミナール形式のワークショップを開始した。

9月～10月にかけて開催した1つ目のテーマ「男性の家事・育児編」では、参加者同士が意見交換を行い、性別による思い込みに対する違和感を取りまとめ、県やエソール広島のホームページ・SNSのほか育児サイト等において、発信する取組を行った。

講座名	内容	バナー・チラシ等
(1)わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「キックオフセミナー」	日時：6/4（土） 対象：テーマに興味がある方全般 参加者：23名 内容：性別に関する固定観念が「わたらしい生き方」にどんな影響を及ぼしているか学んだ後、「林業女子に聞くお仕事トーク」、「育休パパのお困りトーク」などゲストスピーカーの体験談を踏まえて、ワークショップで受講者と意見交換を行い、セミナーのテーマと参加者を次のゼミナール形式のワークショップにつなげた。	

講座名	内容	バナー・チラシ等
(2)わたらしい生き方を選択するためのワークショップ 「わた生きゼミ」	日時：9/17(土), 9/28(水), 10/10(月・祝)(全3回) 対象：30～40代の家事・育児を行っている男性 参加者：11名 内容：性別に関する固定観念が「わたらしい生き方」にどんな影響を与えているのか、育児中の男性を対象に、家事・育児中に感じた性別に関する違和感等について意見交換を行うとともに、県やエソール広島のホームページ・SNSのほか育児サイト等において、動画やグラフィックなどを用いたり、雑誌や新聞などのメディア媒体を活用した発信を行った。	

【「モヤっと体験」～参加した男性から寄せられた、性別による固定観念に関する違和感を発信】



親として当然のことをしているだけなのに…というモヤっとした気持ちを発信!




「男性の育児=ただの休み」という世間の思い込みをモヤっとした気持ちを発信!

2 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

上半期において1,000件を超える相談に対応するとともに、前年度に引き続きコロナ禍により深刻な悩みを抱える女性等に対し相談会を開催したほか、複雑多様化した相談に対応する支援者を対象とした取組を拡充して実施した。

(1) 相談会の開催

年間2,000件を超える相談に対応する中で、コロナ禍等により深刻化し、複雑多様化した相談が寄せられていることから、困難を抱える女性等のために弁護士等の専門家による相談会を開催した。

相談会	内容	バナー・チラシ等
エソール広島 無料相談会	日時：9/23(金・祝) 相談者：16組 内容：弁護士2名、臨床心理士2名による無料相談会(事前予約制、1組あたり1時間)、DVや離婚・子育て等の家族問題や職場でのセクハラなどに関する相談に対応した。	

(2) 相談業務

① 一般相談

家族や職場における人間関係などに関する悩みに対して、電話相談は週5日（水曜日、日曜日、祝日、年末年始を除く日）実施し、その中でも複雑な悩みを抱えた案件などについては、面接相談（原則として毎週金曜日）に移行している。

電話相談と面接相談を合わせると、今年度上半期で1,136件の相談が寄せられ、前年度の上半期件数1,082件を上回った。

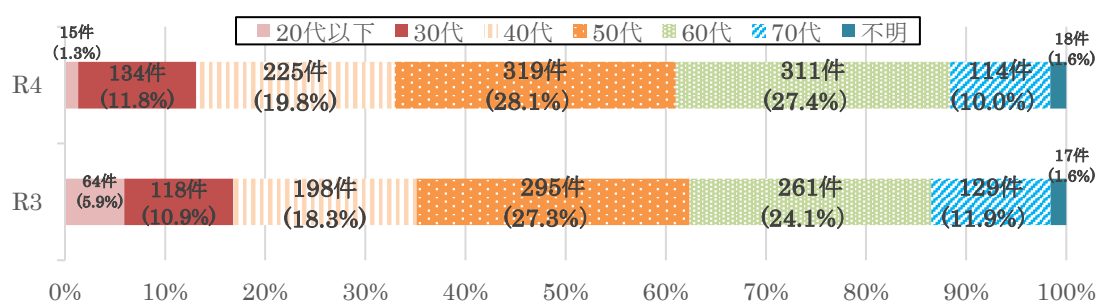
ア 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	前年同期比
令和4年度 (4～9月)	1,085件	51件	1,136件	105.0%
令和3年度 (4～9月)	1,032件	50件	1,082件	107.7%

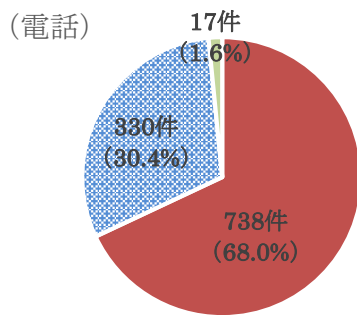
イ 相談内容

相談内容	令和4年度 (4～9月)	令和3年度 (4～9月)	前年 同期比
家族（夫婦、子ども、親等）に関すること (離婚、夫婦間のDV、子どもの教育、親の世話など)	454件 (40.0%)	367件 (33.9%)	123.7%
男女間や職場の人間関係など対人に関すること (男女・隣人・友人・職場等対人関係におけるトラブル など)	276件 (24.3%)	280件 (25.9%)	98.6%
健康、孤独などの人生における不安や悩みに関すること (病気を抱える辛さや不安、今後の生き方など)	352件 (31.0%)	385件 (35.6%)	91.4%
その他 (法律や福祉など様々な情報の収集など)	54件 (4.8%)	50件 (4.6%)	108.0%
計	1,136件 (100.0%)	1,082件 (100.0%)	105.0%

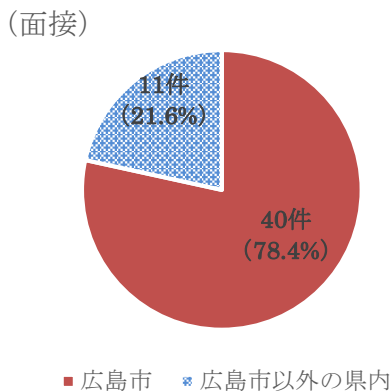
ウ 相談者の年代



エ 相談者の地域別件数



【広島市以外の県内の件数】		
呉市	8	府中町 3
福山市	40	海田町 4
三次市	3	熊野町 1
庄原市	2	不明 238
東広島市	12	計 330
廿日市市	18	
安芸高田市	1	



【広島市以外の県内の件数】	
呉市	1
廿日市市	4
東広島市	4
熊野町	1
神石高原町	1
計	11

オ 専門機関との連携

喫緊に対応する必要がある深刻な内容の相談については、事案に応じて、警察や医療機関などの専門機関につないでいる。

専門機関	令和4年度 (4~9月)	令和3年度 (4~9月)	主な事例
警察	0件	4件	ストーカーやDV被害
医療機関等	4件	9件	ストレス等による心身の不調
行政機関(こども家庭センター等)	16件	20件	DV, 性被害
弁護士, 家庭裁判所等	17件	18件	離婚, 相続
民間施設	1件	9件	法律に基づく事務手続き
計	38件	60件	

② LGBT 相談

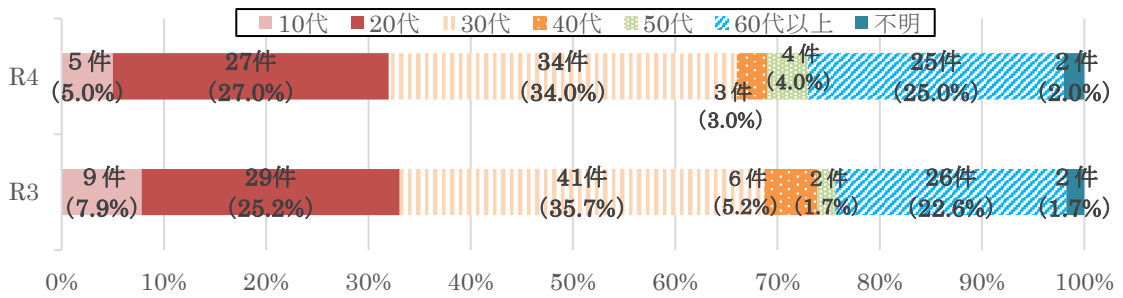
LGBT 電話は平成 29 年 10 月から開設しており、開設当初は月 1 回の実施であったが、平成 30 年 6 月からは毎週土曜日を相談日として窓口を開いている。

相談件数は前年度同期と比べて若干の減少傾向がみられるが、年代別では 30 歳代までの若い世代からの相談が全体の 66% を占め、前年度同期と同様の年代分布である。

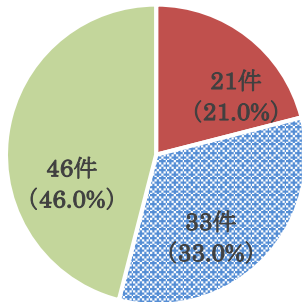
ア 相談件数

区分	電話相談	面接相談	計	対前年比
令和4年度(4~9月)	100件	-	100件	87.0%
令和3年度(4~9月)	115件	-	115件	101.8%

イ 相談者の年代



ウ 相談者の地域別件数



【広島市以外の県内の件数】

尾道市	16
府中市	1
東広島市	8
廿日市市	4
不明	4
計	33

■ 広島市 ■ 広島市以外の県内 ■ 県外・不明




エ 専門機関との連携



専門機関による支援が必要な内容の相談については医療機関や行政機関に繋いでいる。

専門機関	令和4年度 (4~9月)	令和3年度 (4~9月)	主な事例
医療機関	1件	5件	性別変更の治療等
家庭裁判所等	1件	-	氏名の変更
民間支援団体	6件	5件	自分の性が分からない
計	8件	10件	

(3) 支援者支援

エソール広島に寄せられる相談には、複合的な悩みを抱えた方が多く、支援者の対応も多岐にわたることから、新たに「対人支援の技術」の講座を設けるとともに、公開講座では「コロナ禍の中での子育て、高齢者介護問題」や「社会福祉士の支援」を取り上げたほか、「困難な問題を抱える女性への支援法『女性支援新法』を学ぶ」講座を開催した。

講座名	内容	バナー・チラシ等
<p>①支援者養成講座 「対人支援の技術 ～カウンセリング から学ぶ～」</p>	<p>日時：4/23（土）、5/14（土）、5/29（日）【全3回】 対象者：支援者を目指す方 受講者：36人 内容：長期化するコロナ禍において、人と人との関わりが大きく変化 する中、困難を抱える方を支える対人支援に携わる方の養成を目的として、 カウンセリング技法から聞く技術を学ぶ支援者養成講座を開講した。</p>	
<p>②支援者養成講座 「対人支援の技術 ～専門家から学ぶ ～」</p>	<p>日時：6/19（日）、7/10（日）、7/24（日）【全3回】 対象者：相談業務や、対人援助活動に携わっている方 受講者：32人 内容：医師、臨床心理士、弁護士といった専門家から様々な相談現場の話 を聞くことで、対人支援技術のスキルアップを図る講座を開講した。</p>	
<p>③エソール広島公開講座 「コロナ禍の中での 子育て、高齢者 介護問題」</p>	<p>日時：5/8（日） 対象者：テーマに興味がある方全般 受講者：92人 内容：コロナ禍で、孤立感、孤独感を深めている人が多い中、子どもや高齢者などのケアをする側や、ケアされる側がどのような状況に置かれているのかといった「コロナ禍とケア」の問題を考える講座を開催した。</p>	

講座名	内容	バナー・チラシ等
④エソール広島公開講座 「社会福祉士の支援～福祉コミュニティケアから～」	日時：8/28（日） 対象者：テーマに興味がある方全般 受講者：33人 内容：コロナ禍で様々な悩みや生きづらさを抱えている方が増えていることから、福祉の専門知識を有する社会福祉士の支援について学ぶ講座を開催した。	
⑤エソール広島公開講座 「女性支援の新たな扉が開かれる」	日時：9/23（金・祝） 対象者：テーマに興味がある方全般 受講者：97人 内容：困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が制定されたことから、新法制定のポイントを学ぶ講座を開催した。	


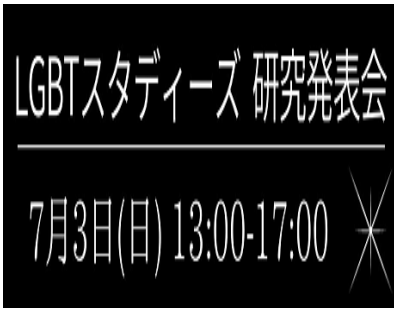
3 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

「LGBT」という言葉や、性的指向、性自認に係る社会全体の認識が広がる一方、偏見や差別的な取扱いが顕在化するなど、性の多様性に対する理解が十分とはいえない。

そこで、悩みを抱える幅広い年代の方が、最初に安心して相談できる公的な窓口として、当事者等の悩みに寄り添う相談対応を行うとともに、相談の多い若年層の理解促進のため、県立高等学校等と連携し、性の多様性等の出前授業の実施数を拡充して実施した。

また、ジェンダーやセクシュアリティについて深く正しく学ぶ講座を開催し、得た知識を周りの人に伝授する理解者、支援者を増やすための講座やイベントを開催した。

講座名	内容	バナー・チラシ等
(1) 高校生向け出前授業 (LGBT)	参加校：県立高校 4校 市立高校 1校 出席者：1,592人 内容：今後の社会を担う高校生が「男女共同参画」について考えるきっかけとし、多様な人々がそれぞれの個性と能力を生かして自立した生活を送り、お互いを理解し尊重することの大切さなどについて学んでもらうために、出前授業を行った。	


講座名	内容	バナー・チラシ等
(2) ビブリオフェス	<p>日時：4/24（日）、6/12（日）</p> <p>対象者：テーマに興味がある方全般</p> <p>受講者：1回目17人、2回目21人</p> <p>内容：LGBT関連図書をツールに、参加者同士が語り合い、性の多様性についての正しい知識を深めながら交流することを目的として、エソール広島の図書を活用したイベントを開催した。</p>	
(3) LGBT スタディーズ「研究発表会」	<p>日時：7/3（日）</p> <p>対象者：テーマに興味がある方全般</p> <p>受講者：68人</p> <p>内容：「ジェンダー、セクシュアリティについて深く正しく学びその知識を周りの人に伝授する」を目的に、LGBTQ+・セクシュアリティ・ジェンダーに関する研究を实践した大学院生等8名による「研究発表会」を開催し、研究成果について参加者と意見交換した。</p>	

4 複数の重点分野にまたがる取組等

エソール広島では、特に注力した3つの取組のほか、利用者が男女共同参画について考えるきっかけとなるよう、Youtubeで「生き方・働き方」「子育て・家事」「家族・高齢社会」「LGBT」の4つのテーマのセミナーを動画配信するとともに、交流事業として各種団体と男女共同参画をすすめるための講座やセミナーの共催や、学校からの要望を踏まえた出前授業の実施、大学連携などの取組を行った。

(1) 主催事業


① エソールつながるトークリレー

目的・内容	バナー・チラシ等
<p>コロナ禍等により、様々な社会的課題で悩んでいる方々に対して、これから生きていく上での考え方や参考になる情報などを提供することにより、悩みの解消などにつながることを目的とする。</p> <p>上半期には「子育てにいかすポジティブ心理学」、「ヤングケアラーについて考える」等のテーマで1話15～30分程度で分かりやすく解説したセミナー動画をYoutubeに掲載した。</p>	

- ② 出前授業 計 11 件（県立高校連携 8 件）
 LGBT 5 件
 性教育 4 件
 デートDV 1 件
 子どもの権利条約 1 件
- ③ 研修受託 9 件
 パートナーシップ, LGBT, 職場でのハラスメント, 性教育などについての研修

- (2) 共催事業 16 件
 全国一斉女性の権利ホットライン, 離職中ナースの座談会など

- (3) 大学等との連携 3 件

連携先	連携内容	授業風景
安田女子大学	「公共経営学概論 I」見学実習において、男女共同参画の現状や、エソール広島の歴史・活動について講義を行い、施設の紹介を行った。(6月30日)	
広島修道大学	「生涯学習支援論 I」において、男女共同参画の現状やエソール広島の活動について講義を行ったほか、ジェンダー平等や男女共同参画、性の多様性などをテーマに、学生が考えた「エソール広島を舞台にした学びの場」について、直接の提案発表が行われた。(7月14日, 21日)	
叡啓大学	学生 2 名が、エソール広島でのインターシップに参加し、「わたらしい生き方を選択するためのワークショップ」の企画会議へ参加したほか、若い世代をターゲットとした新規イベントや動画配信等に係る企画提出などを行った(9月7日~22日)	

5 上半期の事業の評価と今後の取組

(1) 上半期の事業の評価

- 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

今年度のワークショップ事業については、これまで利用の少なかった 30~40 歳代の男性や大学生などの若い世代の参加が得られたほか、ゼミナール形式第 1 弾の「男性の家事・育児編」では、地域や社会で活躍する方に企画から実施まで主体的に参画いただくなど、エソール広島を利用する層の広がりや、エソール広島を中心とした交流・連携の取組が図られた。

また、Web や雑誌、新聞などの媒体を活用し、性別に関する固定観念の違和感や気づきを効果的に発信することができた。

○ 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

上半期には前年度同期を上回る 1,136 件の相談が寄せられており、このうち喫緊に対応する必要がある相談については、こども家庭センターや医療機関等の専門機関につながるとともに、弁護士や臨床心理士等の専門家による相談会の実施により、深刻化・複雑化した悩みを抱える方に寄り添う支援を行うことができた。

また、対人援助に携わる方を対象とした対人支援技術のスキルアップや専門知識の向上のため、支援者支援にも力を入れて取り組んだ。

○ 性の多様性の理解促進

LGBT 相談では、10 代 20 代の相談が全体の 1/3、30 代を含めると全体の 2/3 であり、若い世代からの相談が圧倒的に多い。

こうしたことを踏まえ、県立高等学校等との連携による性の多様性等の出前授業は実施校数を拡充して実施したほか、LGBT 関連図書ツールに性の多様性についての正しい理解を深めるビブリオフィェスの拡充や、LGBT に関連する研究発表会を行うなど、特に若い世代に対し、様々な方法により性の多様性の理解促進に向けた取組を行った。

(2) 今後の取組

○ 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

ワークショップ事業は、「学校生活とジェンダー」、「子どもとメディア」の 2 つのテーマで、引き続き少人数・複数回の課題解決型のゼミを開催し、参加者同士の意見交換を踏まえ、性別に関する固定観念の違和感や気づきを Web や雑誌などのメディア媒体を活用して発信するとともに、エソール広島を核として、自主的・自律的で活発な活動がさらに広がるよう、意見交換や議論する場づくり、活動発表や交流の機会づくりに取り組む。

○ 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

相談事業に関しては、窓口寄せられる相談は、様々な課題が絡み合った複合的なものや、相談者自身が悩みの本質に気付いていない場合もあるため、相談のファーストコンタクトの窓口として、必要に応じて丁寧な面談を行った上で、専門機関の紹介や同行、無料の専門家相談会へ繋ぐなど、引き続き一人ひとりに寄り添った支援を行うとともに、関係支援機関との課題の共有や連携に向けた検討を行う。

○ 性の多様性の理解促進

性の多様性の理解を進めるため、LGBT の支援を行う団体や県立高等学校等と連携し、全校での性の多様性等の出前授業の実施を目指して引き続き取り組むとともに、ビブリオフィェス等の取組を通じて正しい情報を提供し、理解促進を行っていく。

第2 エソール広島の利用状況について

1 エソール広島の利用状況

(1) 利用者数

新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用定員を通常の60%に制限しているが、緊急事態宣言等による利用自粛要請がなかったため、利用者数は回復傾向にあり、前年度同期に比べて施設利用者数は全体的に増加した。特に、外部施設で開催した講座等については、高等学校への性の多様性等の出前授業の拡充等により講座参加者が大幅に増加した。

区分		令和4年度 4~9月実績A (割合)	令和3年度 実績B		平成28 年度	対前年 同期比 A/B
			(割合)	4~9月		
施設利用者数		8,118人 (100.0%)	13,279人 (100.0%)	6,832人	10,563 人	118.8%
内 訳	研修室・交流スペース利用	6,968人 (85.8%)	11,723人 (88.3%)	5,934人	—	117.4%
	図書の貸出しや情報収集等での 利用(フリースペース利用)	1,150人 (14.2%)	1,556人 (11.7%)	898人	—	128.1%
外部施設で開催した財団主催又は 共催の講座等の参加者数		3,561人	3,223人	298人	—	1195.0%
合 計		11,679人	16,502人	7,130人	10,563人	163.8%

※利用自粛要請を行った期間：令和3年4~9月：R3.5.8~7.11, R3.7.31~9.30(127日間)

※研修室・交流スペース利用者数には、オンライン参加を含む。

(令和3年4~9月：3,264人, 令和4年4~9月：1,637人)

(2) 研修室及び交流スペースの稼働率

研修目的等での稼働率は76.4%と、利用自粛期間を除いた前年度同期と同程度だった。

区分	開館日数 A	研修目的等での利用日数 B	稼働率 B/A
令和4年度(4~9月)	182日	139日	76.4%
令和3年度(4~9月)	180日(56日)	110日(44日)	61.1%(78.6%)

※ ()内は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用自粛要請を行った期間を除く。

(利用自粛要請を行った期間：R3.5.8~7.11及びR3.7.31~9.30)

(3) 研修室及び交流スペースの利用状況の分析

「研修室（2室の平均）」の稼働率は31.4%で、利用自粛期間を除いた前年度同期に比べて1.3ポイント下回ったものの、交流スペースの稼働率は15.9%で、6.4ポイント上回った。

【研修室の稼働率（利用件数単位）】

区分	昼間						夜間		合計	前年同期
	平日			土日			平日	土日		
	午前	午後	計	午前	午後	計				
研修室	34.6%	44.6%	39.6%	42.3%	65.4%	53.8%	9.2%	1.0%	31.4%	21.8% (32.7%)
交流S	13.8%	16.9%	15.4%	23.1%	55.8%	39.4%	1.5%	7.7%	15.9%	6.1% (9.5%)

※（ ）内は、令和3年度の新型コロナ感染拡大防止のため利用自粛要請を行った期間を除く。

（利用自粛要請を行った期間：R3.5.8～7.11及びR3.7.31～9.30）

(4) 団体区別の利用状況

団体区別でみると、企業・NPO等が3,161人（45.4%）で最も多く、そのうち利用形態別では、講座・研修での利用が79.0%と多い。女性団体は1,806人（25.9%）となっている。

区分	令和4年度 (4~9月) 〔団体別割合〕 (利用形態割合)	利用形態			令和3年度 (4~9月)	対前年 同期比
		講座・研修	交流会	会議・打合せ		
女性団体	1,806人 〔25.9%〕 (100.0%)	1,007人 (55.8%)	128人 (7.1%)	671人 (37.2%)	1,589人	113.7%
企業・NPO等	3,161人 〔45.4%〕 (100.0%)	2,497人 (79.0%)	179人 (5.7%)	485人 (15.3%)	2,013人	157.0%
行政	1,051人 〔15.1%〕 (100.0%)	791人 (75.3%)	59人 (5.6%)	201人 (19.1%)	2,027人	51.9%
男女共同参画財 団（主催事業）	950人 〔13.6%〕 (100.0%)	829人 (87.3%)	33人 (3.5%)	88人 (9.3%)	305人	311.5%
合計	6,968人 〔100.0%〕 (100.0%)	5,124人 (73.5%)	399人 (5.7%)	1,445人 (20.7%)	5,934人	117.4%

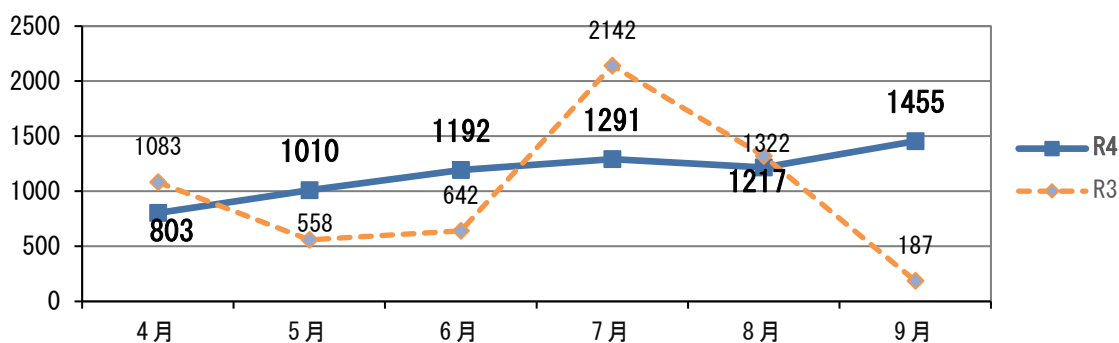
(5) 月別の利用状況

前年度は利用自粛要請期間※があったため、月別に差が生じていたが、今年度5月以降は毎月1,000人を上回る利用があった。

※利用自粛要請を行った期間：令和3年4~9月：R3.5.8~7.11, R3.7.31~9.30(127日間)

【利用者数（月別）】

(単位：人)



(6) 登録団体の利用状況

利用促進の広報に力を入れたため、男女共同参画の推進を目的としてエソール広島を利用して活動する団体として、令和4年度上半期に新たに14団体が登録し、令和4年9月末現在で84団体となった。

① 登録団体の状況

区分	団体数 (新規)
公益社団・財団法人	5 団体 (0 団体)
一般社団・財団法人	11 団体 (1 団体)
NPO法人	10 団体 (0 団体)
その他任意団体等	58 団体 (13 団体)
計	84 団体 (14 団体)

② 所在市町別の状況

区分	団体数 (新規)
広島市	74 団体 (11 団体)
広島市以外*	10 団体 (3 団体)
計	84 団体 (14 団体)

*東広島市（2団体）、廿日市市（1団体）

③ 登録団体の利用状況

区分	件数
職場等における女性活躍の支援 ・キャリアアップ支援 等	64 件
家庭における男女共同参画の促進 ・子育て支援 等	6 件
地域社会活動における男女共同参画の促進 ・地域における女性活動の支援 等	8 件
その他 ・ひとり親支援, 健康支援 等	7 件
計	85 件

2 情報の提供状況

エソール広島では、情報提供として、女性問題、DV、人権、LGBT など男女共同参画やダイバーシティ等に関する図書等を配架し、貸出しを行っているほか、ビブリオフェスなどの研修事業でも活用している。

また、ホームページやSNSなどでセミナーの案内や実施内容、施設利用について発信しており、Facebook や Instagram なども活用し、施設の利用案内や各種講座・研修の紹介をしている。ホームページのアクセス件数が前年度に比べて1万件以上増加しており、その中ではLGBT 関連図書ビブリオフェスの関心が高かった。

3 上半期の利用状況の評価と今後の取組

(1) 上半期の利用状況の評価

感染拡大防止のため利用定員を60%に削減したものの、オンライン参加を含む施設利用者数は8,118人で、感染症対策前の令和元年度同期の8,864人と同程度に回復しつつあるほか、施設を利用して男女共同参画の推進となる活動を行う登録団体は着実に増加している。あわせて、性の多様性等の出前授業など外部施設で開催した講座の参加者数は増加していることから、こうした取組の中でも、エソール広島の認知度を高めながら施設利用に繋げる必要がある。

一方で、オンライン参加者は1,637人で、前年度に比べ、民間団体がオンラインで実施していた大規模イベントや連続講座の利用が減ったことなどから約半数にとどまっており、Webの活用についても市町での中継配信なども含め、更なる利用拡大に向けて取り組む必要がある。

(2) 今後の取組

今後は、新型コロナウイルス感染防止を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」に対応しつつ、引き続き、交通の利便性を生かして仕事や学校帰りの交流イベントの利用のほか、オンラインイベントの充実や市町での中継配信など行いながら、利用拡大を図るとともに、県立高等学校等との連携により、全校での実施を目指す出前授業においてエソール広島の活動紹介を行うなど認知度を高めながら施設利用につなげる。

併せて、エソール広島における講座やイベントの案内に留まらず、実施内容についても創意工夫しながら、多くの方が情報を入手しやすいようFacebook や Instagram などを活用して情報発信を行っていく。

第3 県としての検証の総括について

わたらしい生き方を選択できるような意識改革では、ワークショップを活用した自主的活動の促進について、前年度の参加交流型の取組を進化させながら、今年度はゼミナール形式のワークショップを開始しており、これまで利用の少なかった30～40歳代の男性や、大学生などの若い世代が参加したほか、地域や社会で活躍する方に企画段階から主体的に参画いただくなど、交流・連携の取組を行った。今後、「学校生活とジェンダー」など2つのテーマについても予定しており、課題や解決策をSNS等様々な媒体で発信するとともに、エソール広島を中心とした自主的・自律的な活動が広がるよう意見交換や議論する場づくり、交流の機会づくりに継続して取り組んでいく必要がある。

また、コロナ禍において、深刻な悩みを抱える女性などを対象とした相談会を実施するとともに、深刻化・複雑化した相談支援者の対応は多岐にわたることから、対人援助に携わる方のスキルアップに取り組んでいるが、併せて関係支援機関との課題の共有や連携に向けた検討を行う必要がある。

性の多様性の理解促進については、LGBTの支援を行う団体や県立高等学校等との連携により、今後、全校での性の多様性等の出前授業の実施に向けて着実に取組を進めていく必要がある。

引き続き、立地の優位性を生かし、仕事・学校帰りの交流イベントなどの利用を促進するほか、創意工夫による取組を進めるとともに、活動の発信に力を入れ、「わたらしい生き方応援プランひろしま」に位置付けた「性別や年齢等に関係なく、多様な分野で活躍している個人や団体が交流・意見交換し、自主的・自律的で活発な活動を行う拠点」を目指していく。

参考

1 受講者の満足度・アンケート結果

(1) 性別にかかわらず「わたらしい生き方」を選択する意識改革

講座名	アンケート結果
① わたらしい生き方を選択するためのワークショップ「キックオフセミナー」	<p>満足度：82%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①人により考え方や視点は様々で、仕事や家庭において他人と共働するに当たり、自分の固定観念に寄りすぎないことを改めて認識した。</p> <p>②育休制度の確立だけでなく、周りの人、個人の意識を改める必要があることを知った。</p> <p>③講演、ゲストトークの中で自分も気付いてないけど「やっちゃっている」と思うことがあり反省した。</p>
② わたらしい生き方を選択するためのワークショップ「わた生きゼミ」	<p>満足度：100%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①普段感じていてもなかなか言葉にできなかったことについて、共感を持って話し合えて良かった。「同じ思いを持つ人がいる」ということが分かったことも大きな収穫だった。</p> <p>②このような議論は初めてで、非常に参考になった。男性の育休が進むようなセミナーがこれから増えると良い。</p> <p>③とても面白かった。同じようなイベントがあれば参加したい。</p> <p>④3回では足りないほど充実したゼミだった。</p>

(2) 様々な困難を抱える方への支援の充実・強化

講座名等	アンケート結果
① エソール広島無料相談会	<p>満足度：100%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①日々の方向性がわかったので良かった。知人も子どものことで悩んでいるので、次回があれば教えてあげたい。</p> <p>②自分のことなのに、自分ではわかっていないことがあった。困りごとに対して解決方法を何個か示してくださったので、早速やってみようと思う。とても優しく丁寧に聞いてくださり、安心して相談することができた。</p>
② 支援者養成講座「対人支援の技術～カウンセリングから学ぶ～」	<p>満足度：92%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①相手を理解するためには、事実関係重視ではなく、感情体験重視で、相手の感情を認知して反射していくことが大切であるとわかった。現在行っている電話相談に活用するとともに、家族の生活にも生かしていきたい。</p> <p>②グループワークで自分にはないものを吸収することができた。</p>

	<p>③初めてのカウンセリングの勉強だったが、とても分かりやすかった。自分の伝えたいことを第一優先とせず、相手の立場に立ち、相手を知ろうとすることを大切にしていきたい。</p>
<p>③ 支援者養成講座 「対人支援の技術～ 専門家から学ぶ～」</p>	<p>満足度：84% 受講者の声： ①職場ですぐ使える支援技術について理解を深めることができた。また、敷居が高かった弁護士への相談がしやすくなった。 ②カウンセラーとして必要なポイントを改めて考えることができ、自分の聴き方をとらえなおすことができた。法的支援の立場から、どのように弁護士につないでいけばよいか、どのようなかわり方をしていけばよいかを学ぶことができた。そもそものメンタルヘルスの問題、自分自身の体の問題を知ることができ、性被害、DV、妊娠をめぐる現状を学ぶことができた。</p>
<p>④ エソール広島公開講座 「コロナ禍の中での 子育て、高齢者介護問題」</p>	<p>満足度：84% 受講者の声： ①社会の中で、高齢者やひとり親が孤立して、経済的にも苦境に立たされていることがよく分かった。 ②ジェンダーの視点から見る介護、高齢者、シングルマザー等の問題、現代的な問題であり、常に耳にしながら、漠然と考えがちな問題について、その実相、当事者の生の声を通して問題点を指摘され、深く考えさせられた。 ③誰の世話にもならないことが自立ではなくて、依存先の選択肢が多く、それぞれの依存度が浅いことが自立という考えが印象に残った。</p>
<p>⑤ エソール広島公開講座 「社会福祉士の支援 ～福祉コミュニティ ケアから～」</p>	<p>満足度：93% 受講者の声： ①社会福祉士が担う役割や活動の実態について知ることができた。 ②事例紹介がわかりやすかった。実際にどこにつなげていったのかの説明もされていたので参考になった。相談業務に生かせると思う。 ④私が思っていた以上に1人の人の生活を再起させることはたくさんの関係機関との連携が必要だと知った。社会福祉に今まで以上に興味を持つことができた。</p>
<p>⑥ エソール広島公開講座 「女性支援の新たな 扉が開かれる」</p>	<p>満足度：95% 受講者の声： ①困難な問題を抱えているだけでも大変だが、相談窓口など支援する制度にたどり着くことの難しさを感じた。 ②女性支援法の施行に向けて、何が必要か、課題等大変勉強になった。 ③今後の支援に向けてとても参考になった。支援が困難な方にも切れ目なく支援していく難しさを感じながらも大事なことだと再認識し、また頑張りたいと思う。</p>

(3) 性の多様性の理解促進と性的指向・性自認にかかわらず安心して暮らせる環境づくり

講座名	アンケート結果
① 高校生向け出前授業	<p>満足度：72%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①何事も固定概念に囚われてはいけないのだとわかった。性別は男と女の2種類ではなく、たくさんあって多様性があると学んだ。</p> <p>②性の在り方は社会が作っていて生きづらさを感じている人がいることが分かった。</p> <p>③男女で差をつけるのではなく、様々な視点から見るのが大切だと分かった。世界中には、色々な愛し方があると分かったので、理解していきたいと思う。</p> <p>④性についてあまり関心がなかったが、深く知りたいと思った。</p>
② ビブリオフェス	<p>満足度：96%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①自分が知らない本や漫画から様々なことを考えることができた。他の人から経験を聞くことができ、自分だけではないと思った。</p> <p>②様々な世代、様々な背景・問題意識を持つ人たちと議論ができて楽しかった。皆、積極的に発言していて盛り上がってよかった。</p> <p>③とても有意義。本というツールを使うことで様々な問題が明確化されると思うので、ぜひ継続してほしい。</p>
③ LGBT スタディーズ「研究発表会」	<p>満足度：86%</p> <p>受講者の声：</p> <p>①LGBTに関する諸問題について、多様な視点から捉えた発表をしていただき非常に勉強になった。</p> <p>②研究発表を一般に公開するということがとても興味深かった。</p> <p>③発表内容を聞いていく中で、そのような考え方もあるのかと新しい視点や考え方を知ることができ、より興味を持てた。難しい問題ではあるが、自分にも何かできることがないか、どのような活動をしていくべきなのかより深く考えていきたい。</p> <p>④多くの方の研究を聞くことで、自分の知らなかった現在の実情を知ることができる有益な機会になった。</p>

2 情報発信・蔵書貸出状況

(1) ホームページ等

ホームページ	<p>アクセス件数： 62,998 件（前年 4～9 月：51,467 件） アクセスの多いページ（HOME を除く）</p> <p>① LGBT 関連図書ビブリオフェス（10,956 件） ② 施設案内・予約（5,760 件） ③ 相談したい方（3,773 件） ④ エソール広島の概要（2,674 件） ⑤ 講座イベント情報（2,209 件） ⑥ 講座情報（2,014 件） ⑦ 施設予約状況（1,370 件） ⑧ 講師派遣（870 件） ⑨ LGBT スタディーズ 研究発表会（764 件） ⑩ LGBT スタディーズ 教育実践（618 件）</p>
フェイスブック	<p>投稿回数：40 回（情報数 46 件） （前年 4～9 月：42 回（情報数 42 件）） フォロワー数：706 人 主な配信内容： ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（34 件）①-2 イベント情報（共催事業）（3 件） ② 図書の紹介（6 件） ③ 国・県情報（3 件）</p>
インスタグラム ※令和 3 年 8 月 4 日開設	<p>投稿回数： 11 回（情報数 20 件） （前年 8～9 月：6 回（情報数 6 件）） フォロワー数：97 人 主な配信内容： ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（12 件） ② 図書の紹介（5 件） ③ 国・県情報（3 件）</p>
ライン	<p>投稿回数： 17 回（情報数 17 件） （前年 4～9 月：37 回（情報数 53 件）） フォロワー数：56 人 主な配信内容： ① 研修・イベント情報（財団主催）（10 件） ② 国・県情報（7 件）</p>
メールマガジン	<p>配信回数：15 回（情報数 85 件） （前年 4～9 月：22 回（情報数 82 件）） 登録者数：1,224 人 主な配信内容： ①-1 研修・イベント情報（財団主催）（42 件） ①-2 イベント情報（共催事業）（14 件） ② 国・県情報（18 件） ③ 図書の紹介（9 件） ④ 施設情報（2 件）</p>

(2) 文献情報等

区分	保有数	貸出数	
			前年度
一般図書	女性問題に関する図書, 女性の活動を支援する図書 3,667 冊	241 冊	165 冊
行政資料	国・都道府県作成の男女共同参画に関する調査・統計・報告書等 431 冊	(館内閲覧)	(館内閲覧)
DVD	女性の生き方を考える国内外の映画・ドキュメンタリー等 30 本	0 本	0 本